

## 令和 5 年度事業報告

### 1 令和 5 年度全体活動状況

令和 5 年度の萩博物館については、コロナウィルス感染症による入館制限もなくなり、年間を通じて 2 つの特別展及び 3 つの企画展が開催されました。入館者数は 48,751 人で令和 4 年度に比べ 23.2% の増加となりましたが、コロナウィルス感染症拡大前の入館者数にまでは戻っていません。

このような状況下ではありますが、令和 5 年度の本法人の運営状況を見ると、主要事業である萩博物館の管理運営事業は会員各位の尽力により順調な事業運営を行うことができました。一方、自主運営するレストラン、ショップ部門においては、企画展、特別展に合わせたショップ商品の充実や新規メニューの開発など売上増大を目指す取組みを行うとともに、アフターコロナの観光振興のための各種キャンペーン、クーポン等の活用や原油価格・物価高騰対策支援金等の助成活用などの経営改善の努力も行ってきました。博物館入館者の増加や経営努力により売上額は前年に比べ増加しましたが、光熱水費や仕入額も増高するなど一般管理費も増大し引き続き大変厳しい状況となっています。

次に、市から管理運営を受託し、萩まちじゅう博物館のサテライト施設として機能している松陰記念館についてですが、萩市内への観光客数の増加に伴い入館者数も前年比 6.7% の増となっています。これにともない令和元年度から取り組んでいる書籍や土産雑貨等の商品販売も順調に伸長しています。

また、市の宿泊型研修施設として管理委託を受けている萩セミナーハウスもコロナウィルス感染症の鎮静化に伴い宿泊者数、利用者・団体数も順調に推移し、電気料金や仕入れ額の高騰もあったものの安定的な経営状況となっています。

萩博物館、松陰記念館、萩セミナーハウスの管理運営を担っている各班では、萩市のおもてなし宣言に基づき、常に「笑顔でおもてなしの心」での対応を心がけるとともに、各種接客セミナーへの参加など接客対応技術の研鑽、向上にも努めてきました。

一方、無償班の活動では、各班それぞれの活動計画に基づき事業を行ってきました。こうした各班の活動の成果は年間を通じて、エントランスホール等で発表してきました。また、コロナウィルス感染症のため開催を見送ってきた「ふれあいの日」については、令和 2 年度以来 4 年ぶりに開催し、多くの来場者を迎え各班それぞれに積極的な活動発表を行うことができました。また、5 月には「こども広場」を開催したほか、浜崎伝建おたから博物館や萩ふるさとまつり等市内の各種イベントにも積極的に参加し高い評価を得たところです。

コロナウィルス感染症により見送りが続いていた各班の自主研修もそれぞれ実施され、班活動の推進と充実が図られてきました。

平成 25 年度から市内各地で展開してきました文化遺産活用事業は、これまで市内 26 地域で多くの「おたから」を登録してきましたが、その蓄積を見守りや活用につなげるため、令和 5 年度は地域の文化遺産に関わる人材の育成と普及啓発のための取組みを行いました。また、この事業の成果ともいべき古地図でまち歩き事業では、「チーム歩隅見」が利用者拡大を図るため、「古地図でまち歩き」の子ども版として、ビンゴを活用した「萩城でおたから探し」を企画するなど、利用者からは高い評価を得ています。

以上、令和 5 年度の全体事業の報告としますが、本法人は引き続き萩市の基本ビジョンを支える 3 つの構想の一つである「萩まちじゅう博物館構想」のもと、萩市のまちづくりについて行政や市民と協働した活動を展開していくこととします。

## 最近4年の萩博物館入館者の推移

### \*萩博物館入館者数

(R 2・4・1～R 3・3・31)	32,646人
(R 3・4・1～R 4・3・31)	42,154人
(R 4・4・1～R 5・3・31)	39,581人
(R 5・4・1～R 6・3・31)	48,751人

### 参考

#### 萩市の観光客数 (萩市観光課調べ)

萩地域のみ (R 2. 1. 1～R 2. 12. 31)	2,275,905人
萩市全域	3,199,061人
萩地域のみ (R 3. 1. 1～R 3. 12. 31)	2,224,381人
萩市全域	3,178,124人
萩地域のみ (R 4. 1. 1～R 4. 12. 31)	2,579,592人
萩市全域	3,614,421人
萩地域のみ (R 5. 1. 1～R 5. 12. 31)	2,810,670人
萩市全域	3,828,146人

## 2 令和5年度の各班の活動報告

### (1) ボランティア活動事業部門

萩まちじゅう博物館構想を念頭に、調査・収録・マップ化・データベース化・標本作成したものを用いて、イベントへの参加・ワークショップ等各班独自の自主活動を展開し、市民との交流を図るとともに、班研修などにより自己研鑽に努めました。

#### ①まち博おたから情報班

##### ◎活動内容

○定例活動：毎月2回 第1、第3月曜日

・ミーティング

活動日、調査日の調整を行った。

調査報告内容の検討をした。

・現地調査

「萩のお寺が面白い」でお寺を訪問した。

長寿寺、浄国寺、東光寺、実相寺、願行寺、安養寺の6寺を訪問した。

・公開中の物件映像の確認、修正及び追加等を行った。

○班の活動紹介

・エントランスホールでまちなみの変化の様子を紹介する写真を展示した。

○イベント参加

・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

#### ②外国語班

##### ◎活動内容

○定例活動：毎月1回 第3木曜日

・ミーティング

年間活動計画報告について

・外国語班研修会（基礎英会話練習、音読）

・企画展の英文リーフレット作成・説明

- ・英会話セミナーの実施

萩博物館国際化の一層の発展を目指し、外国からの来萩、来館者に即座に対応な  
有用、実用英語表現を掲載した資料を作成し、英語の語学力、発話能力が身につ  
くよう配慮し、英語に対する興味、関心を高める研修を実施した。

研修には皆さん熱心に取り組み好評を博した。

- ・外国語班資料等の整理

- イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

### ③民話語り部班

- ◎活動内容

- 定例活動

- ・ミーティング・研修会 毎月1回 第1火曜日
- ・博物館での定例上演：毎週土曜日 35回 339名参加
- ・新作紙芝居「萩の夏みかん」の作成・上演

- イベント参加

- ・浜崎伝建おたから博物館
- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

### ④研修班

- ◎活動内容

班員が調査・研究事例を発表した。

- 定例活動：毎月1回 第2金曜日

- ・ミーティング

年間計画について話しあった。

- ・会員が研究・調査した内容を月別に発表

「清末の先覚者・船越清蔵」 5月

「吉田松陰と月性」 6月

「襖の下張りから出てきた古文書」 7月

現地研修「廻浦記略に従って」（赤間関周辺） 9月

「初代宮司 青山清」 10月

「雑学 神社・仏閣を訪ねて」 11月

「講孟余話 再考」 12月

「函館戦争」 1月

「松陰先生の歩いた道と山登り」 2月

「品川弥次郎と尊攘堂」 3月

※今年度は9名の班員が研究した内容を発表し、そのうち2名が初めて講師を体験  
され盛り上がった。

今年度を最後に2名の講師が引退され、研修班は大きな変化に対応する必要があ  
ります。これを補うため、来年度は新たに2名の発表者を加えた体制となる。

選任講師による「廻浦記略」の最終地、赤間関の見聞が終わった。来年度は、県  
東部の玖珂、高森付近を巡り見聞を広める。

- イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

### ⑤花と緑の推進班

- ◎活動内容

- 定例活動：毎月2回 第2、4火曜日（月1回も有り）

- ・ミーティング 4回
- ・土作り  
花の植栽に大切な作業で、咲き終わった花の土を、苦土石灰を入れて再生させ、腐葉土、赤玉、鹿沼土他を混ぜあわせる。
- ・育苗  
前年度に咲いた大菊、小菊の新枝を5月に挿木し、支柱立て、針金つけ、芽かき輪台つけ、水やり等作業を経て、秋には大輪の菊3本仕立てや小菊を長屋門の入口、玄関横に例年通り展示した。
- ・植栽  
マリーゴールド、メランポジウム 6月  
パンジー 11月  
葉ボタン 12月  
各自交代で水やりと花の管理をした。
- 育てた花の配置
  - ・配置場所  
博物館をはじめ、松陰記念館、セミナーハウスに菊と季節の花を配置した。
- 研修 10月 リフレッシュパーク豊浦、東行庵
- イベント参加
  - ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

#### ⑥自然おたから班

##### ◎活動内容

萩近海の海岸で貝殻を拾い集め、萩の海の魅力を未来に引き継ぐための調査・研究に取り組む萩博物館の海洋生物部門に、タカラガイなどの「指標種（熱帯性貝類）」を提供。12月から「ザ・シェリングバー」を再開し、標本用具、ワークショップ用具を除く余品を入館者にプレゼントした。

##### ○定例活動

全活動日 48日

- ・ミーティング：月曜日 年間12日活動
- ・室内作業：月曜日 年間25日活動
- ・萩近海を巡回し貝殻採集：月曜日 年間7日活動  
大井1回、倉江1回、三見1回、仙崎3回、西の浜1回
- ・熱帯貝採取  
益田1回

##### ○イベント参加

- ・こども広場 ワークショップ
- ・浜崎伝建おたから博物館 ワークショップ参加
- ・夏期特別展 化石探しワークショップで協力（3回）
- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」
- ・萩ふるさとまつり ワークショップ参加
- ・企画展 ワークショップ「チリメンモンスターを探そう」で協力（2回）

##### ○研修 笠戸島 9月

#### (2) 管理運営活動事業部門（受託事業）

自主事業の展開や事業受託している、萩まちじゅう博物館の中核施設である博物館及びそのサテライト施設として機能している松陰記念館の管理・運営が適切に行えるよう万全

の体制で取り組むとともに、利用者及び入館者に対して「できる限りのおもてなし」を班活動の中心に位置づけ内容の充実に努めました。

①受付班（博物館）

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング、ローテーションの調整及び業務連絡等の周知 月1回
- ・接客、金銭授受の責任ある対応

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

○研修 浜崎地区 6月

接遇セミナーに参加

②ガイド班（博物館）

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング 毎月1回 第3金曜日  
年間12回開催、問題点を提示し調整、改善に努めた。

○特別展・企画展等の展示説明会への参加 5回

- ・展示説明研修

年5回の特別展・企画展等の展示説明会に参加し、知識を深め入館者を案内に努めた。

企画展「古写真で見る幕末明治 海外渡航者編」 3月18日～

特別展「萩・古生物キングダム」 7月8日～

特別展「長門峡一峡谷の美景」 10月7日～

企画展「クジラに生かされてきた萩・山口の人々」 12月23日～

企画展「再発見・萩のまち」 3月16日～

- ・特集展示への対応

年5回の特集展示についても学芸員からの説明をうけ案内を行った。

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

○研修 下関 6月

③守衛・清掃班（博物館）

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング・シフト会議 毎月1回 第3火曜日  
守衛・清掃業務の連絡事項など共通認識の徹底を図った。

- ・守衛

職員通用口の入・退館者の確認と到着荷物の受け渡しを正確にした。

- ・清掃

来館者の入館から退館までの環境づくりの徹底と博物館で働く皆さんに、気持ちよく過ごしてもらえるよう清掃と環境づくりをした。

コロナ感染対策のドアノブの消毒はなくなった。

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

○研修 光市

④ショップ班（自主事業）

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング 毎月1回  
ローテーション等の調整をした。

○商品の品揃え等

- ・商品審査会の開催

各展示にあわせ商品を検索し、年間120品目を審査会にかけた。

- ・棚卸

四半期毎に4回実施した。500品目以上のコンピューター上の在庫と実在庫を照合した。

- ・特別展・企画展ごとの商品の取り替えと模様替えを行った。

学芸員等の話を参考に、お客様のニーズに合わせた商品を取り揃えられるよう心掛けた。

※夏期企画展ではコロナの制限もなくなり入館者も売り上げも昨年に比べ大幅に伸びた。化石発掘イベントのおかげで高額な化石標本がよく売れた。骨格標本の絵柄が子供には難しかったのかカンバッジの人気はイマイチだった。古生物のぬいぐるみは他の生き物に比べ種類が少なく探すのに苦労した。

○ぶちうまキャンペーン等の利用

ぶちうまキャンペーンにより日本酒の売り上げが伸びた。

○販売促進イベントの実施

- ・ゴールドデンウイーク期間、年始の粗品プレゼント
- ・中嶋治平生誕200年記念イベント
- ・高杉晋作誕生日記念イベント
- ・特別展「長門峡—峡谷の美景—」のチラシをラベルにした日本酒の販売

○インボイス制度の開始

インボイス制度が開始され、領収書の扱いの変更があった。

○カード決済（クレジット・電子マネー）の継続

※今年度は1,500件、320万円の利用があった。今後も継続していきたい。

カード利用は売上げの24%

○おもてなしの精神での接客研修

おもてなし研修に3名が参加。「1に笑顔2に笑顔」をモットーに頑張っていきたい。

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

○研修 萩市内 6月

接客セミナーに参加

⑤レストラン班（自主事業）

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング 毎月1回 第4火曜日  
ローテーション等の調整をした。

○衛生 衛生面に特に注意をはらった。

○新規メニューの開発

企画展に合わせた新規メニューの開発

季節に合わせたメニューの開発

○棚卸

- ・食器・備品の棚卸の実施
- コロナ感染拡大での売上対策対応のクーポン、キャンペーン（観光クーポン、ぶちうまキャンペーン、旅々県民割等）の利用
- イベント参加
  - ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」
- 研修
  - ・ 接遇セミナーに参加
- ⑥松陰記念館班（主管：商工課）
  - ◎活動内容
    - 定例活動
      - ・ミーティング 毎月1回 19日（19日が土日となる場合は翌月曜日）
      - ・ミーティング確認事項（先月・今月）及びローテーション会議
    - 休館
      - ・臨時休館
      - ・空調機器工事のため 6月5日、6日
    - ショップ関係
      - ・棚卸 6月、9月、12月、3月
      - ・スタッフと事務局担当者担当で実施した。
    - 最重点項目
      - ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を最大目標として運営を行った。
    - 花と緑の推進班の協力による花の鉢配置
      - ・花と緑の推進班の協力により春夏秋冬の花の盆栽（毎回8鉢から15鉢）を提供してもらい飾った。
      - ・正面玄関に夏の花、日日草を8鉢配置 6月
      - ・正面玄関に「マリーゴールド」「ポーチュラカ」「千日草」30株設置 6月
      - ・館内塾舎前に秋の花、菊の花3本立て15鉢展示 11月
      - ・正面玄関に冬の花、「葉ボタン」10鉢と春の花「パンジー」8鉢配置 12月
    - 萩に咲く花の開花写真の展示案内
      - ・四季折々に咲く市内の花の開花状況を来館者に情報提供
    - その他
      - ・ツバメの巣ができ、正面玄関にフン落下表示コーン設置
      - ・5月頃にツバメのつがいが館内に入りだし、正面玄関に2か所巣をつくったので、注意喚起用のフン落下表示コーン設置した。7月には、巣立ちしたので、コーンを撤去した。
      - ・館外左横天井裏にスズメバチの巣があり撤去した。
    - イベント参加
      - ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」
    - 研修 全員研修会の実施
      - ・ 鹿野、徳地地区 3月

### (3) 学芸サポート活動事業部門

学芸員の指導の下で、萩まちじゅう博物館構想に基づく班活動を推進するため、各種資料収集・発見、整理分類、出前展示及び情報公開等に努めました。

#### ①歴史班

##### ◎活動状況

○定例活動：毎月1回 第4金曜日

- ・ミーティング
- ・襖の下張り剥がし、古書籍等の整理と目録の作成
- ・市内の旧家等から古い襖、屏風等の譲り受け

※班員12名で活動。活動日の参加状況も良かった。

※実活動日8日

夏期特別展開催中は、バックヤードが使用不可となったので、活動を休止した。

※新たな試みとして、古文書の保存を図る方法の一つとして「裏打ち作業」も実施した。

○FM775出演

歴史班の活動を紹介するとともに、古い襖などの提供をお願いした。

○イベント参加

- ・浜崎伝建おたから博物館 襖の下張り剥がし体験で参加

※歴史班の会場は、場所も良多くの人に「襖の下張り剥がし」に参加してもらった。

- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

○研修 宇部・阿知須 福原家関係 11月

## ②天文班

### ◎活動内容

新型コロナウイルス感染症関係が緩和され、感染拡大防止と並行しながら諸活動に取り組んだ。

○観望会の開催状況

従前の例により、昼間の太陽観望及び夜間の季節の星空観望を開催した。これらの観望活動に対し、望遠鏡の取扱いなどに危険をはらむものもあり、常に危険防止に配慮しながら、天文指導員の手伝いを行った。

- ・昼間の太陽観望

日時 毎週1回金曜日 13時30分～16時30分

参加者 768名

内容 10cm望遠鏡、7cm太陽望遠鏡による太陽観望。曇天、雨天で太陽が見えないときは施設の説明ややさしい天文の話をした。

※以前、黒点がほとんど見えないときもあったが、今年度は黒点の数が増える、大きくなるなど、皆さんに喜んで見てもらえるようになった。

曇天など太陽が見えないときは施設を見てもらうが、スライド式の屋根や望遠鏡の内部など、興味深く見てもらえるのが救いである。

- ・夜間の星空観望（星の会）

日時 毎週1回金曜日 19時30分～21時

参加者 519名 昼間との合計数1,287名

内容 既設望遠鏡、増設望遠鏡や大型双眼鏡による星空観望

曇天、雨天で星が見えないときは天文の話やパソコンによるプラネタリウムの投影、クイズなども行った。

※参加者は季節的には夏季が多いが、子供も含め皆さんが熱心に観望されるとともに、自ら図鑑や教材も参考に勉強される人が増えたのが印象に残る。

○星の会特別編（萩市の広報誌で開催を周知したものなど）の開催状況

これは、観望会を一定のテーマのもとに実施することで、博物館から萩市の広報上にも働きかけられている。これにより広く周知され、多くの皆さんが参加される。

・春の星座と上弦の月を見よう

日 時 令和5年4月28日（金）19時30分～21時00分

場 所 博物館 天体観望室

参加者 20名

※内容・感想

雲があっただが「春の星空」の大半を見ることができた。子供から年配の方まで多くの方が熱心に観望された。また、手持ちの双眼鏡に関心を持たれた方がおられたので、使い方のポイントを教えてあげた。

・夏の星空と夏の大三角、土星を見よう

日 時 令和5年8月25日（金）19時30分～21時00分

場 所 博物館 天体観望室

参加者 16名

※内容・感想

雲が多かったがろうじて観望可能となる。夏休み終りに近いが子供さんも多く、保護者と一緒に楽しんでいた。後半、雲が多くなり十分に観望できなかったのが残念。

・秋の星空とアンドロメダ銀河・木星・土星を見よう

日 時 令和5年10月20日（金）19時30分～21時00分

場 所 博物館 天体観望室

参加者 33名

※内容・感想

当初雲が多く、観望が不安視されたが、そのうち条件が良くなりひと安心した。家族連れも多く、子供たちが熱心に観望してニコニコして帰っていったのが印象的だった。

・ナイトミュージアム観望会（8月11日、13日の2回）

第1回

日 時 令和5年8月11日（火）19時30分～21時00分

場 所 博物館 天体観望室

参加者 124名

※内容・感想

初めは雲が多かったが、後半晴れて可能となった。夏の大三角や西の春の星座などを見ることができた。皆さんいろいろな疑問点を尋ねながら楽しく観ておられた。

第2回

日 時 令和5年8月13日（金）19時30分～21時00分

場 所 博物館 天体観望室

参加者 160名

※内容・感想

雲はあるが条件良好。多くの方が喜んで観望された。人工衛星も多くみられ、流れ星と間違えて大騒ぎという一幕もあった。

二日間とも大人数の来場者だったが、班員や博物館、まち博で受付、誘導を行ったのでスムーズに行えた。ただ、小さな子供が望遠鏡をオモチャにして不用意に動かしたり、来場者の誰かがスライディンググローブのスイッチを入れたこともあり、今後注意の必要があると感じた。

・冬の星空とオリオン座大星雲を見よう

日 時 令和5年12月22日(土) 13時00分～16時00分

場 所 博物館 天体観望室

参加者 3名

※内容・感想

曇天で天体は見えず。パソコンによるプラネタリウム及びクイズによる基礎学習を行った。

・田床山でカノープスを見よう

日 時 令和6年3月1日(金) 19時30分～21時00分

場 所 博物館 天体観望室から田床山

※内容・感想 条

曇天。条件が悪いせいか参加者なし。

○イベント参加

・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

○研修 中止

③あい班

◎活動内容

○定例活動

・ミーティング及び作業 毎月2回 第2、4木曜日

学芸員の指導のもと年間活動等の調整及びその都度の作業の調整をした。

・タデアイの種苗・育苗

タデアイ畑作り及び管理、収穫(肥料入れ、畝作り、種まき・水やり・草取り・収穫)と種の保存作業をした。

・染色

乾燥葉染めでショップ販売用作品を作った。(ハンカチ、バンダナ染・仕上げ)

・資料整理・虫干し

春(虫干しシールの入れ替え)秋に衣類資料の整理と虫干を実施した。

○販売用ハンカチの製作販売

・当法人ショップでの作品販売

○FM775出演

あい班の活動を紹介した。

○イベント参加

・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

○研修 日原民俗資料館 10月

○年間の活動への参加人数 延べ145人

④古写真班

◎活動内容

○定例活動： 毎月2回第1、第3火曜日

・ミーティング

○出前展示

・平安古鍵曲がり交流館展示「夏みかん」 4月18日～5月29日

・東萩駅展示「夏みかん」 4月18日～7月4日

・「結」展示「なつかしい田町」 7月4日～8月18日

・萩市役所ロビー展示「堀内 昭和と令和」 11月13日～11月30日

・東萩駅展示「萩の空から」 7月4日～10月3日

○FM775 出演

古写真班の活動を紹介した。11月

○イベント参加

- ・浜崎伝建おたから博物館で古写真展示「懐かしの浜崎」 5月21日
- ・結まつり「萩の祭り」 10月3日～11月21日
- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

○研修 周南市 6月

⑤レコード班

◎活動内容

○定例活動：毎月2回 第1、3金曜日

- ・ミーティング

今期の年間予定を作成した。

- ・レコード整理（台帳記入、パソコン入力、シングル洋盤のシール貼り、番号付）
- ・長屋門でのレコード展示継続（アニメ子供向け）

○FM775 出演

レコード班の紹介を行った。

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」

⑥民具班

◎活動内容

昨年に続き新型コロナウイルス感染症の感染防止に留意しながら、担当の学芸員と連携して楽しく活動ができた。

○定例活動：毎月2回 第1、3木曜日

- ・ミーティング
- ・通常作業

(1)長屋門収蔵の資料整理。4月

長屋門展示替え用の資料選び。効果的な展示になるようにしたいと思った。

(2)市民から寄託された資料の整理。6月

家電類などもいろいろあったが、昔、萩で開催された第4回産業博覧会関連の資料が見つかり、資料の適正管理に気持ちを新たにす思いだった。

(3)絵ハガキなどの整理。7～11月

戦前のハガキが多くあり、観光記念ハガキなどは旧満州や中国各地で地名の判読に苦勞するものも多く、当時のいろいろなものを考えさせられた。

(4)長屋門冬用の展示、カーペットの敷き替え。12～1月

鍛冶道具や他の金物道具類の整備、クリーニング、防錆オイルの塗布などを行った。使い方がわからないものも多く、教えを受けるのも面白かった。

(5)映画館の宣伝広告用チラシなどの整理。2～3月

年代不明なものが多くあり、手掛かりをさがした。時期の手掛かりでは大正年代に発行されたものも多く見つかった。また、萩に映画館が多くあったことなど興味深いものがあった。

○イベント参加

- ・こども広場 ケン玉、コマ回しで参加

祝日ではあるが、他の行楽・行事のせい出人出は少ないようであった。夏みかん選果機に痛みが生じ十分な活用ができず残念だった。

- ・浜崎伝建おたから博物館 ケン玉、竹がえしで参加  
明倫小のケン玉名人の児童によるストリートパフォーマンスがあったせいもあってケン玉が好評で、子供の他に保護者も一緒に遊んでいるのが微笑ましかった。竹がえしは古い遊びなので興味度が低いと思ったが、やってみると意外に好評なものには驚いた。
- ・NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」  
昭和の暮らしのうち暖房器具を主に展示、解説。昔遊びでは竹がえしやすごろくを行った。来場者は大人のみで83名、子供を入れると百数十名となる。キッチンと展示し、それをわかりやすく解説することの大切さを学んだ。

#### ○研修

- ・鹿野・徳地 3月

徳地の町歩きでは昔の町から昭和の時代に至るまでの道や神社・仏閣、町筋町角に趣をみた。鹿野においては図書館に付設された資料室だったが、小さいながら目を引く資料が多く、様々な幅の田んぼの草取り気は田の植え付け幅によって作られているとのこと、石油発動機とそれにベルトでつないで使う機械、これらは人力から電動へ移る中間のものとして興味をひいた。

#### ⑦チーム歩偶見

##### ◎活動内容

萩市内各地の隠れた魅力の再発見ツアーを実施することにより、萩を訪れる観光客の皆さんへおもてなしを実践する。

##### ○定例活動：毎月1回 第4金曜日

- ・ミーティング 連絡、調整事項の確認
- ・現地研修 新たなコース設定の現地研修

##### ○再発見ツアーガイド

- ・古地図で萩を歩こう参加者

萩城三の丸コース（A・B）	72人
萩城本丸、二の丸コース	105人
御成道・札場コース	2人
豪商熊谷家コース	0人
本丸、二の丸、三の丸コース	51人
寺町コース	11人

- ・萩まちじゅう博覧会プレイベントに参画し、堀内 A コースの博覧会特別バージョンとして実施したが、参加者は1名であった。
- ・萩市国際交流員のハナさんに協力をいただき、英語でのガイドツアーが実施できるように準備を進めている。

※山口県観光連盟主催の「古地図を片手に、まちをあるこう」キャンペーンが9月16日～3月31日まで開催され、そのスタンプラリーを集めて参加されるお客様もいた。また同連盟のHP「おいでませ山口へ」のトップページのトピックで同キャンペーンが取り上げられ、そのメインの紹介に堀内のコースがとりあげられたことにより、通常は閑散期となる12月～2月のお申込みが増えたと推測される。

今後も文化遺産活用事業と連携し、まち歩きのコースも増やし、萩まちじゅう博物館観光のツールの一つとしてこの事業を発展させていきたいと考えている。

#### (4) 指定管理者事業部門（主管：文化生涯学習課）

##### ① 萩セミナーハウス

###### ◎ 事業実施の成果

利用団体の利用目的達成のためのサポート・指導を行った。

ホスピタリティを充実させるとともに、質の高い研修メニューを提供するための改善と研鑽を行った。各種マニュアルやスタッフの手引きを見直し活用した。

研修受入人数は、夏季を中心に宿泊研修の利用者数が格段に増えてきている。

・研修受入人数（主催事業含む。）	合 計	延べ	10,904人
	うち宿泊研修	延べ	2,001人

・主催事業の企画実施（8企画実施 延べ日数30日 延べ参加者468人）

・放課後子ども教室実施（年12回 延べ参加者 175人）

・施設管理（建築物・設備機器等の保守管理）

定期点検、設備点検、病害虫駆除殺菌消毒、施設機械警備を実施した。

また、12月中・下旬の利用者のいない日を利用して全館ワックスがけを実施、軽微な補修も行った。

・清掃業務（環境衛生・外溝清掃及び植栽管理・除草・草刈りなど）

快適な環境の維持、美化に努めた。特に通路の落ち葉や松葉等の清掃、外溝の除草清掃は日常的に行った。

・食事提供

現在、厨房に豊富な経験を持つ男性スタッフが確保できており、食事がおいしいと利用者から好評である。特別食（アレルギー対応食）はもちろんのこと、各団体に応じて臨機応変に、栄養バランスやボリュームなどを考慮した食事を提供することができた。

#### (5) まち博推進ネットワーク事業部門

##### ① ネットワーク推進事業

○文化遺産活用事業（まちじゅう博物館推進課・事務局 NPO萩まちじゅう博物館）

・令和5年5月 文化遺産活用事業実行委員会

○事業内容

###### 【事業1】地域の文化遺産人材育成事業

地域の文化遺産に関わる人材の育成について、それぞれの人材の役割や活動イメージを整理し、「見守り人材」の育成を他の団体や他の取り組みと連携する方法を検討・模索した。

地域のおたからを活用した体験プログラム等を実施する団体や事業者、個人が集まる「まちはくミーティング」を継続的に実施し、おたからを活用する人材の横のつながりづくり・チームビルディングを進めた。萩まちじゅう博覧会イベントと連携を行った。

萩のまちや萩のおたからの探し方を身に着け、さらにそれを他者に共有するアウトプット方法を学ぶ機会として「はぎびんごクリエイターワークショップ」を実施した。他の団体との連携による開催パターンと自主開催パターンの2種類を実施し、ワークショップの手法を確立させるとともに、楽しみながら地域のおたからに関わる人材として、子どもから大人まで参加者11名を「はぎびんごクリエイター」として認定した。

・まちはくミーティングの定期的な開催：4月26日、5月22日、6月28日、7月26日、8月30日、9月27日、11月1日、12月20日、1月24日、2月28日、

3月27日

- ・はぎびんごクリエイターワークショップの実施：7月27日（萩・明倫学舎）、12月10日・17日（浜崎地区）

### 【事業2】地域の文化遺産普及啓発事業

地域の文化遺産の活用と普及啓発を目的として、先進地の講師の話聞いて意見を交わす「まちはくトークセッション」を行った。（まちはくミーティングとの連動）

市民への普及啓発を目的として、各地域のおたからを紹介するパネルやおたからマップを展示・配布する「おたから紹介パネル展」を行った。

- ・まちはくトークセッションの開催：11月1日（徳島県にし阿波観光圏「あわこい」講師）、1月24日（福岡県久留米市「久留米まち旅博覧会」講師）
- ・おたから紹介パネル展：3月8日～21日

普及啓発に活用するツールの整備・管理として下記の取り組みを行った。

- ・萩のおたからデータベース、ウェブサイトの公開継続、データ管理、おたからマップの管理
- ・おたからマップ配布の継続 萩市役所受付、萩博物館、萩・明倫学舎、萩市観光案内所、ほか市内各所
- ・おたからマップの増刷：浜崎地区、佐々並地区、むつみ地域、相島地区（各500部）

○各総合事務所との連絡調整

- ・各総合事務所及び公民館との随時連絡がとれる状態の確保

○地域ボランティア活動等の協議会との連携充実

## 3 会議の開催

- (1) 通常総会 : 令和5年5月30日（火）萩博物館 講座室
- (2) 理事会 : 12回開催（毎月1回）
- (3) 班長会議 : 3回開催（6月、11月、3月）
- (4) 三者会議 : 12回開催（毎月1回）
- (5) 商品審査委員会及びメニュー検討委員会 随時
- (6) 新入会員説明会 12月
- (7) 設立20周年記念事業等検討委員会の開催 4月
- (8) 設立20周年記念事業実行委員会の設置・開催 2月
- (9) 役員候補者選挙管理委員会の設置 3月

## 4 全体事業

- (1) こども広場 5月に実施
- (2) NPO萩まちじゅう博物館活動発表会「ふれあいの日」 10月に実施
- (3) イベントへの参加・協力
  - 萩城下の古き雛たち 流し雛
  - 浜崎伝建おたから博物館
  - 着物ウィーク in 萩
  - 萩・竹灯路物語
  - たまちハロウィン・結まつり
  - 萩ふるさとまつり

(4) 博物館一斉清掃 年2回

6月 博物館敷地内の夏みかん畑の草取り 12月 萩博物館内班活動使用場所清掃

(5) 門松づくり 12月 萩博物館玄関に設置

(6) 事務局からのお知らせ(会報紙)の発行 毎月10日

## 5 会員募集と年度別会員推移

市報、会報紙、ホームページ等にお知らせし募集しました。特に有償班に従事する会員については、慢性的に会員の確保が困難なところもあり勧誘活動のより一層の拡充が必要となっています。

### \* 会員の推移

平成27年3月31日現在	会員数計	191名	
	賛助会員	12社	14口
平成28年3月31日現在	正会員数	200名	
	賛助会員	15社	17口
平成29年3月31日現在	正会員数	202名	
	賛助会員	12社	14口
平成30年3月31日現在	正会員数	205名	
	賛助会員	11社	13口
平成31年3月31日現在	正会員数	198名	
	賛助会員	12社	14口
令和2年3月31日現在	正会員数	194名	
	賛助会員	10社	12口
令和3年3月31日現在	正会員数	191名	
	賛助会員	8社	10口
令和4年3月31日現在	正会員数	191名	
	賛助会員	8社	10口
令和5年3月31日現在	正会員数	193名	
	賛助会員	7社	7口
令和6年3月31日現在	正会員数	192名	
	賛助会員	6社	8口

令和5年度 特定非営利活動に関わる事業会計財産目録

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人NPO萩まちじゅう博物館  
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	3,143,001	
当座預金	38,421	
普通預金	34,155,230	
郵便振替	619,261	
売掛金	520,586	
商品	1,186,354	
食材料	81,390	
未収入金	240,800	
仮払金	350	
前払費用	107,390	
流動資産合計		40,092,783
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	312,931	
有形固定資産計	312,931	
(2) 投資その他の資産		
出資金	20,000	
投資その他の資産計	20,000	
固定資産合計		332,931
資産合計		40,425,714
II 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	1,233,751	
未払費用	5,538,618	
前受金	82,000	
仮受金	1,066,140	
未払法人税等	640,000	
未払消費税	1,628,000	
流動負債合計		10,188,509
2. 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		10,188,509
正味財産		30,237,205

令和5年度 特定非営利活動に関わる事業会計貸借対照表

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人NPO菘まちじゅう博物館  
(単位：円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金	37,955,913	
売掛金	520,586	
商品	1,186,354	
食材料	81,390	
未収入金	240,800	
仮払金	350	
前払費用	107,390	
流動資産合計		40,092,783
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	312,931	
有形固定資産計	312,931	
(2) 投資その他の資産		
出資金	20,000	
投資その他の資産計	20,000	
固定資産合計		332,931
資産合計		40,425,714
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
買掛金	1,233,751	
未払費用	5,538,618	
前受金	82,000	
仮受金	1,066,140	
未払法人税等	640,000	
未払消費税	1,628,000	
流動負債合計		10,188,509
2 固定負債		
	0	
固定負債合計		0
負債合計		10,188,509
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		27,829,825
当期正味財産増減額		2,407,380
正味財産合計		30,237,205
負債及び正味財産合計		40,425,714

令和5年度 活動計算書  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	388,000	
賛助会員受取会費	40,000	428,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	66,759	66,759
3. 事業収益		
博物館管理等運営事業収益	41,286,410	
レストラン、ショップ、松陰記念館事業収益	20,999,066	
セミナーハウス事業収益	5,438,373	
指定管理者事業収益	16,831,000	84,554,849
4. その他収益		
受取利息	352	
受取配当金	200	
雑収益	1,396,356	
雑損失	△ 8,173	1,388,735
経常収益計		86,438,343
II 経常費用		
1. 事業費		
期首棚卸高	1,299,956	
仕入高	9,621,943	
期末棚卸高	△ 1,267,744	
事業費計		9,654,155
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	1,560,000	
給料手当	20,375,306	
労務費	26,837,223	
法定福利費	3,309,841	
福利厚生費	624,901	
人件費計	52,707,271	
(2) その他経費		
広告宣伝費	82,966	
委託販売手数料	9,261	
外注費	415,795	
施設管理費	481,800	
燃料費	91,040	
清掃衛生費	428,599	
水道光熱費	2,779,301	
自動車費	444,562	
事務消耗品費	958,630	
消耗品費	1,656,470	
リース料	1,755,310	
支払保険料	170,174	
修繕費	363,000	
租税公課	5,708,820	
減価償却費	1,232,131	
旅費交通費	54,000	
通信費	1,017,521	
支払手数料	685,300	
会議費	5,528	
諸会費	30,000	
図書費	74,675	
活動費	567,750	
地代家賃	667,790	
研修費	21,490	
事業費	460,890	
雑費	909,643	
法人税等	640,000	
その他経費計	21,712,446	
管理費計		74,419,717
経常費用計		84,073,872
III 経常外収益		
1. 固定資産売却益		42,910
経常外収益計		42,910
IV 経常外費用		
1. 固定資産除却損		1
経常外費用計		1
当期正味財産増減額		2,407,380
前期繰越正味財産額		27,829,825
次期繰越正味財産額		30,237,205